

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年3月29日

事業所名 GIFT Plus

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		仕切りを使わず、可能な限りフロアスペースを広くとっている。	
	2	職員の配置数は適切である	6		全スタッフ資格持ち	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		玄関やトイレ等のフリー化を検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		毎朝ミーティング開催し、情報共有を行いながら、全員把握を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			アンケートでいただいた声を、全スタッフ周知し、改善できることは即座に取り掛かっている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		今後は第三者委員に委ねる検討をしていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		社内研修は毎月2回、社外は随時参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		必要に応じてアセスメントの取り直しも行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			スタッフミーティング等で読み合わせをするなどし、共通理解を持って支援に当たるようにする。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			問題発生時には、その都度見合わせていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		活動計画案を配布しているが、もう少し細部まで拘った設定をしていきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎朝のミーティング	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			必ず行っているわけではないので、勤務時間内で出来るようにしていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		児発管を中心に定期的に見直しをしている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6			再度読み合わせを行い、認識の強化を図っていきたい	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			各利用者の担当者決定を検討していき、把握の向上を行っていきたい	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			送迎時等に情報共有を行い、必要に応じて担当者会議を開催している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4			今のところ医療的ケアが必要な医療者がいないが、今後は思索していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6				定期的に訪問するなどし、連携を取っていきながら困り感の共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1		学校や家庭・関係機関との密な連絡、連携	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4			地域貢献も考えて、まずは事業所の地域から打診していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1			場面に応じて、困りごとの共有を図りながら、役所への紹介等の連携を取っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			管理者は24時間体制を取っている。	SNSやLINE等を使用し、相談しやすい環境を提案しながら、ホットな状態での対応を行っていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5			長期休暇期間を利用し、保護者会等の開催を企画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				解決委員会を設置している。些細な事でも伝えやすい状態にして対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			毎月のお便りの配布を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			常に中立の立場に立ち、お互いの意思の尊重をしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4			交流できるイベント等の企画をしていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		今現在は、身体拘束が必要な利用者はいないが、今後を見通し、研修を重ねながら、対応できるように準備しておきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		